

みんなで創る

「住み続けられるまち・四日市」

四日市市の ごみ行政



四日市市クリーンセンター

本市では、ごみ処理における最上位計画である「ごみ処理基本計画」を、令和8年3月に見直しました。今回の見直しは、直近のごみ排出量を踏まえ、さらなるごみの減量や資源化の推進などの施策を進めていくことを目的としています。また、食品ロス削減推進計画を新たに策定しました。

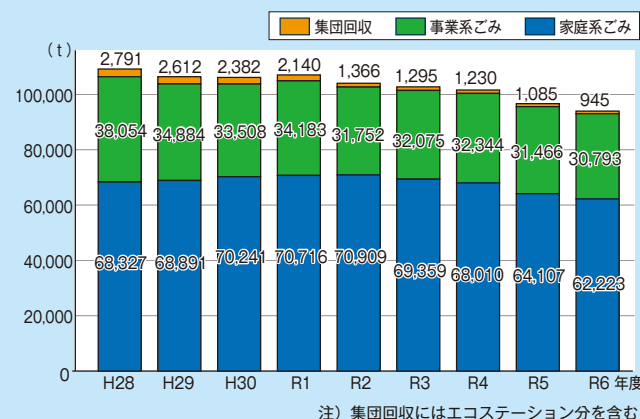
四日市市のごみの現状



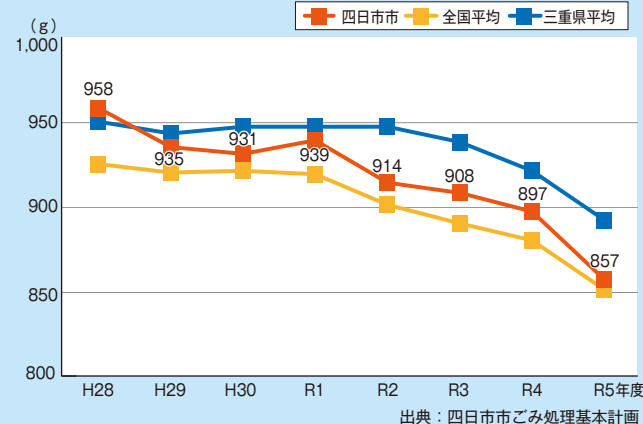
現在のごみ総排出量は年間 93,961t で、総排出量の約7割を占めている家庭系ごみは、令和2年度以降減少傾向にあります。また、オフィスや店舗、工場など、事業活動で発生する事業系ごみも、増減を繰り返しながらも全体的には減少傾向にあります。

1人1日当たりのごみ総排出量は 857g / 人・日 で、減少傾向にありますが、基本計画で設定した目標（家庭系 478g / 人・日、事業系 256g / 人・日）を踏まえて、より一層の減量化が必要です。

排出形態別ごみ総排出量の推移



1人1日当たりごみ総排出量の全国平均等との比較



ごみを減らすことで...

ごみを減量することで、ごみの収集・運搬や焼却時の二酸化炭素排出量を抑え、地球温暖化を防止し、限りある資源を未来に残すことができます。

また、ごみの処理には年間約 35 億円の費用がかかっています。ごみを減量することで、ごみ処理に係るコストを抑えられれば、さらなる公共サービスの充実につながります。

ごみの減量には、ごみを排出する市民一人ひとりの主体的な取り組みが必要不可欠です。次ページからは、ごみの減量に向けて本市が行うさまざまな事業を紹介します。



COLUMN 10月は食品ロス削減月間

10月は「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」です。食品ロスとは、本来食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。日本の食品ロスは年間 461 万tにもなります。これは、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料支援量(2024 年で年間 250 万t)の約 1.8 倍にも相当します。

本市が令和5年度に実施した家庭ごみの排出傾向を調べる調査では、可燃ごみの約10%が食品ロスでした。食品ロスを減らすことは、食料資源の有効利用や環境保護につながって、未来の私たちの暮らしを守ります。

2024(令和6)年度 食品ロスによる経済損失・温室効果ガス排出量の推計結果

2024[令和6]年度
食品ロス量

461万t

国民1人当たり

37kg/年

食品ロスによる
経済損失の合計

3.8兆円

国民1人当たり

31,097円/年

食品ロスによる
温室効果ガス排出量の合計

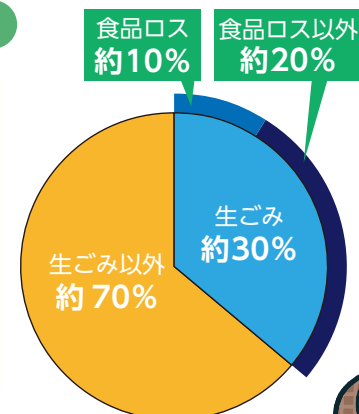
978万t-CO₂

国民1人当たり

79kg-CO₂

出典：消費者庁ホームページ

本市の家庭ごみの組成



家庭ごみの持ち込みについて

問 環境事業課 TEL 340-3308 FAX 331-6183

四日市市クリーンセンターでは、市民の家庭ごみの直接持ち込みを受け入れています。

お住まいの地域のごみ収集日程に関わらず、ごみを処分することができるので、片付けなどで大量のごみがある場合などにご利用

ください。粗大ごみなど、地域のごみ集積場には出せないものも直接持ち込み可能です。

ごみ処理手数料や搬入時の注意事項など、詳しくは市ホームページを確認してください。



受付日時

月曜日から土曜日(祝日も利用できます)
8:30 ~ 12:00、13:00 ~ 16:30

持ち込み可能なごみの種類

可燃ごみ・破碎ごみ(粗大ごみ)・資源物
ごみの分別をあらかじめ行ってください

必要なもの

受付でごみの発生場所が市内であることを確認するため、免許証など住所・氏名の分かるものをご用意ください。

実家の片付けなど、家族が持ち込む場合は、住所が分かる書類(免許証やマイナンバーカードの写し、公共料金の領収書など)を持参してください。

ごみの減量に向けた本市の取り組み

食品ロス・生ごみ削減に向けた取り組み

マッチング事業

家庭で使い切れない食品や、団体や企業の災害備蓄品、規格外品などの食品を、こども食堂を運営する団体などの、食料を必要とする団体にマッチングさせる事業です。



寄付できる食品

- ・常温保存ができる食品 ・未開封の食品
- ・賞味期限まで1カ月以上ある食品
- 例：缶詰、お米、乾物（パスタ、うどんなど）、レトルト食品、飲料、お菓子、調味料など

寄付できない食品

- ・生鮮食品（生ものや野菜など）
- ・賞味期限が明記されていない食品（お米は除く）
- ・アルコール飲料（料理酒、みりん、しょうゆは除く）

マッチング窓口

四日市市社会福祉協議会 TEL 325-6488

フードドライブ

環境フェアなどのイベントとあわせて、家庭などで使いきれない食品を集めて、食品を必要としている地域のフードバンクなどの生活困窮者支援団体、こども食堂、福祉施設などに寄付する活動です。



生ごみ減量化にかかる推進等事業

生ごみ処理機の普及・促進のため、講座や相談窓口を通じて、生ごみ処理機活用へのサポートを行っています。

まずは「知ること」「見てみること」から、気軽に参加してください。自身のライフスタイルに合った生ごみ処理機の活用方法を見つけましょう。

生ごみ減量相談窓口

生ごみ処理機の使い方や日々の管理方法などについて、相談できる窓口です。

受け付け日 毎週火・木曜日 9:00～16:00
(年末・年始を除く)

相談方法 電話やメール、LINE

窓口 (一社) ネクストステップ研究会
TEL 090-3935-5374
メール: 53zero@ee-nextstep.com



Interview

マッチング事業では、市民や企業の皆さんの寄付への想いを大切にしながら、食品を必要としている団体につないでいくことを意識しています。

食品は食べきれる量を購入するとともに、家庭で使う予定のない食品は、廃棄する前に食品の寄付を選択肢に入れていただければと思います。寄付はお菓子1つからできるので、ぜひご協力ください。



配布会の様子

四日市市
社会福祉協議会
代表 米谷さん

Interview

生ごみ処理機を始めたきっかけは人それぞれですが、実際に始めるとみんな口を揃えて生活が楽になったと言います。ごみ出しが不要になり、特にキエーロは揚げ油なども処理できるので、忙しい人にもおすすめです。今はベランダにも設置可能な脚付きタイプのキエーロもあるので、どなたでも始めやすくなっています。

キエーロやコンポストを使っているうちに、上手いかわからないこともあると思いますが、私たちも同じ経験をしているので、ぜひ相談窓口を利用してください。



非電動タイプの生ごみ処理機
キエーロ



ネクストステップ研究会の皆さん

食べきり推進店事業

食品ロス削減に取り組んでいる飲食店などの事業者を「よっかいち食べきり推進店」として市が認定し、広く周知する制度です。

現在、認定店を募集中です。



申請方法など詳しくは、
市ホームページを
確認してください



四日市市食品ロス
削減啓発キャラクター
ゆりゾー

生ごみ以外でも... 紙類の資源化

令和5年度に実施した本市の調査では、可燃ごみ中に約70～90g/人・日の紙類、ペットボトル、衣類などのリサイクル可能なものが含まれており、約45%が紙類です。紙類を中心に、分別の徹底を行うことで、可燃ごみの量を減らすことができます。

例えば...こんなものも資源に



紙袋や封筒、ティッシュの空き箱なども資源物(紙類)として出すことができます。平らにのびし、ひもで十字にしばってください。



資源集団回収助成制度

地域団体の皆さんの力により、資源リサイクルのための集団回収を行い、ごみを減量する制度です。この活動を通じて「地域社会づくり」を一層推進していくことを目的としています。

助成の対象となる団体

自治会など地域住民で構成する団体で、資源集団回収団体登録をした団体。

申請方法など詳しくは、
市ホームページを
確認してください



エコステーション促進事業費助成制度

市民の利便性の向上と資源回収量の拡大を図るため、市内の回収拠点を設置し、管理運営を行う団体に対し、資源物の回収量に応じて助成を行っています。

設置場所・品目など詳しくは、
市ホームページを確認してください



実施団体

- ・NPO 法人みどりの家
- ・社会福祉法人鐘和 フェア・ワークス下野
- ・社会福祉法人わかたけ
生活介護事業所わかたけ萩の里